



あま〜いバイキングにニコリ (P 8をご覧ください)

やすらぎ

題字：高橋ノブさん筆 (特養住民)

No. 63

2014 **春** 号

平成26年3月25日発行

主な内容

沢内中学校生徒雪像づくり	P 2
お料理クラブでおいしくたのしく	P 3
昔懐かしい正月行事	P 4
福祉サービス第三者評価受審	P 5
デイサービス利用者作品紹介	P 6

窓越しに心のふれあひ

沢内中学校 雪像づくりボランティア

恒例となっている沢内中学校生徒による雪像作り、2月6日は一段と寒さが厳しく、風雪も止まないあいにくの天候でした。それでも1、2年生と先生方合わせて40名以上の皆さんが来園してください、玄関前で開始式を行なうてからさつそく作業に取りかかりました。

毎年迫力のある作品



雪の灯籠を何個も並べていきます

を制作していただいておりますが、今年のデザインは干支である馬の顔。より立体感が出るように輪郭の外側を深く掘り進め、特徴となる鼻の穴も豪快にくりぬいておりました。2丁目廊下の窓から見える雪壁には、カラフルに着色された雪灯籠がズラリ、スプレーでタイルやイラストを描いてくれたりと、グループによってアピールも様々で見ているだけで楽しかったです。ボランティアの皆さんも、窓越しではありますが生徒たちの頑張る姿を応援し、「さんびいべなく」と心配し、そして感謝をしている様子でした。



寒いなか本当にありがとうございました



作業を見守る住民の皆さん



だんだん見えてきたぞ…

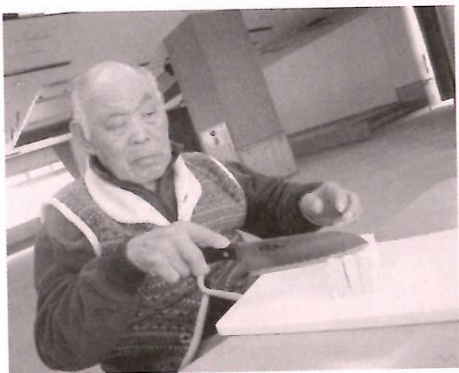
おめでとうございます 石井イナさん101歳

ぶなの園最高齢の石井イナさんが1月25日に誕生日を迎え、101歳となりました。昨年は町長より満100歳の祝い状や記念品が贈られ、さらに健康で長生きすることを決意したイナさん。この1年間も毎日笑顔で過ごされ、誕生日当日はご家族や職員、そしてぶなの園住民の皆さんの祝福を受けました。また来年もお祝いしましょうね♪



お料理クラブ

楽しみながら料理を作ることは、心身の健康にとってもよいそうです。昔を思い出しながらおいしいものを作る喜び、そして食べる喜びを味わってもらおうと、1月21日に「お料理クラブ」の活動が行なわれました。参加してくださったのは5名の住民の皆さん。



ゆっくりと慎重に…

今年も鬼に完全勝利

今年の節分の日も、ぶなの園はにぎやかでした。楽しみの一つとして定番となっているのが、昼食の「恵方巻き」です。色鮮やかな具材がたっぷり詰まった海苔で豪快に巻かれ、皿の上で黒光りしている姿はまるで鬼の金棒のよう。しかし見た目と違って味は繊細、住民も職員もペロツとたいらげていました。住民の皆さんの恵方巻きは、食べやすい形状で出されております。そして午後のお楽しみはもちろんです。落花生を両手に握り、住民の皆さんの攻撃準備がすっかり整ったところに赤鬼と青鬼が登場。大声をあ

げて出てきたものの、予想以上に激しく豆をぶつけられ一瞬ひるんだ様子でした。鬼と住民の皆さんとの攻防はしばらく続き、息が切れてきた鬼はそそくさと退散、ぶなの園住民の完全勝利です。



豆攻撃にひるむ青鬼

手つきはまさに「ベテランお母ちゃん」でした。油揚げや豆腐など味噌汁の具材も切っていただけで余った材料でも



ちょっと味見でこの笑顔

う一品煮物を作り、漬け物も皿に並べてお待ちかねの「いただきます」。シンプルなメニューながら味は最高だったようで、その笑顔を拝見すると、やはり「食べる喜び」のほうが大きいです。

福祉サービス第三者評価

福祉サービスを提供する事業所が自事業所のサービスの質を客観的に把握し、レベルアップにつなげるための取り組みとして有効なのが第三者機関による評価です。特養ぶなの園では今年度、岩手県社会福祉協議会が実施する福祉サービス第三者評価を受審しました。

評価方法の大きな核となるのが「自己評価」です。パートを含む全職員が、細かく分かれた評価項目ごとに三段階のいずれかの評価を行います。次に職員5〜6名ずつのグループに分かれ、自分がどうしてそのような評価をしたか意見交換をし、グループとしての評価を一つにまとめました。判断が難しい評価項目が多く時間がかかりましたが、この行程では職員個々が専門職としての自覚と責任を再認識することができたと思います。グループごとに協議した評価内容は、次の段階の「介護力向上委員会」でさらに討議されました。この委員会の構成員は、各グループでリーダーを務めた課長、主任、副主任です。やはりグループによって評価にバラつきはありましたが、数回に渡る協議で最終的な「自己評価」を作成し県社協に提出しました。そしていよいよ訪問調査。11月11日に5名の評価者が来園し、サービス提供現場をまわりながら自己評価の根拠を確認したり、利用者や職員からの聞き取りなどを行ないました。食事も利用者と同じものを食べていただき、普段ぶなの園で提供されているサービスについてあらゆる角度から見ただいていただいております。

半年近くの時間を費やし実施してきた行程を踏まえて県社協で審査が行なわれ、その評価結果は1月下旬にぶなの園に届きました。報告書には細部にわたったコメント、助言が書き込まれており、3月には県社協の担当者が再度来園し全職員を対象に報告研修会が行なわれています。今回の第三者評価では、特養ぶなの園のサービスはまだまだ質を高めていかなければならない部分が多いという結果が示されまします。これは多くの職員が自己評価の段階でわかっていたことだと思えます。評価を踏まえ今やるべきこと、これからやるべきことを職員個々がしっかりと考え、話し合い、利用者の皆さんに満足していただけるサービス提供に努めてまいります。

昔のお正月を思い出して

正月に親戚が集まって盛り上がった「ほっぴき」。五穀豊穡を祈願して小正月に行なわれていた「みずき団子」。今も毎年行なっているご家庭はだいぶ少ないことと思います。ぶなの園やかたくりの園では、利用者皆さんでほっぴきやみずき団子作りをして、昔懐かしい正月、小正月の雰囲気を楽しみました。



団子の花がひとつ、またひとつ

【ほっぴき】
デイサービスぶなの園では、利用者4名と職員でほっぴきを楽しみました。本来「当たり」は1本だけですが、すべてのひもの先に番号が書かれた札を付け、空クジなしの大サービス。スリッパやハンガーなどのささやかな景品でも、大変喜んでいただきました。



「はずれ」なしの豪華？景品

【みずき団子】
特養ぶなの園では小正月の1月15日にみずき団子を作りました。米粉と食紅で色とりどりの団子を作り、ミズキの枝に飾り付け。住民やベテラン職員にとっては昔を思い出す懐かしい行事ですが、若い職員にはきつと新鮮。真っ白い雪に差したみずき団子は、いっそう美しく映えておりました。



白い雪によく映えます



このドキドキがたまらない

理事長が表彰を受けました

西和賀町社会福祉大会

やすらぎ会高橋一雄理事長が、社会福祉事業貢献者として、西和賀町社会福祉大会で表彰されました。1月21日開催されたこの社会福祉大会では、町内の5名の方が表彰を受け、4名の方に感謝状、2名の方に褒章が贈られました。高橋一雄理事長は、平成15年11月にぶなの園施設長に就任し、平成21年12月から現在のやすらぎ会理事長の職を務められております。介護保険制度がスタートして間もない時期から、長年にわたり地域の福祉向上に貢献されてきたことが大きく評価されたものであり、表彰を受けた皆さんを代表し感謝の言葉を述べておりました。



事前研修会



訪問調査

- **ぶなの園第三者評価受審の流れ** ●
- 全職員研修会 (H25年 7月4日～5日)
※受審の目的、方法等に関する事前研修
- ↓
- 職員個々による自己評価 (H25年 8月2日～20日)
※サービス評価基準の項目に沿って評価
- ↓
- 小グループによる評価 (H25年 8月21日～9月20日)
※自己評価を基に協議し、グループとしての評価をまとめる
- ↓
- 介護力向上委員会で評価 (H25年 9月21日～10月3日)
※各グループの評価を持ち寄り事業所としての最終評価をまとめる
- ↓
- 審査
※評価結果、関係書類を評価機関に送付し審査
- ↓
- 訪問調査 (H25年11月11日)
※評価機関から数名の調査者が来園し調査
- ↓
- 最終審査、結果通知
※決定委員会で評価が決定され事業所に通知
- ↓
- 全職員研修会 (H26年 3月7日)
※評価機関から担当者が来園し報告会

かたくりの園 家族懇談会
2月26日午後6時から、デイサービスセンターかたくりの園の家族懇談会が開催されました。事前に記入をお願いしていたアンケートをもとに和やかな雰囲気で行なわれ、特に認知症の症状のある利用者への対応が話題の中心となりました。それぞれの家庭に独自の対応のしかたがあり、温かく見守られている様子を伺うことができた。お忙しいなか参加して下さったご家族の皆様には、改めて感謝申し上げます。



和やかな雰囲気懇談

吉田栄養士の
なるほど
まめ知識
8

今回の注目食材…『ゆず』

ゆずの効果・効能
 ゆずは食べるというよりも、独特の香りと風味を楽しむ食材です。品質の良いゆずは皮がごつごつして艶があります。傷が付いていたりしわが寄っているものは避けたほうがよいでしょう…。果肉は酸味が強いので生食には適していません。栄養価は果肉より果皮のほうが比較にならないほど高く、特にビタミンCの含有量は柑橘類の中ではトップクラスです。またビタミンB1、B2、鉄分、カリウム、カルシウムなども含まれています。

ゆずには身体を温める温熱作用があり、冷え性、リウマチに効果があります。さらに肌荒れを軽減し肌をなめらかに美しくする働きもあります。ゆず酒を1日に杯で1〜2杯飲むと動脈硬化や貧血の予防に効き目があると言われています。

おすすめレシピ

ゆず味噌

【材料】
 ゆず
 味噌
 みりん
 砂糖

【作り方】

- 1、ゆずの皮の部分をすりおろす
- 2、すり鉢にすりおろしたゆずの皮と味噌、みりんを加えて混ぜる。
- 3、甘さを確認しながら砂糖を加える。
- 4、好みの甘さになったら出来上がり。

***ポイント**

たくさん作っても冷蔵庫で保存すればOK。
 冬に美味しい大根、里芋、こんにゃくにピッタリ。

あしあと
法人の主な動き

【1月】

- 1日 元旦 おせち
- 6日 住民新年交賀会
- 7日 出張理容 課長会議
- 11日 家族会新年会
- 15日 みずき団子づくり
- 16日 課長会議
- 21日 西和賀町社会福祉大会
- 27日 感染症予防対策委員会
- 28日 法人内部監査

【2月】

- 3日 節分豆まき 課長会議
- 4日 出張理容
- 6日 沢内中雪像づくり
- 7日 職員登用試験
- 8日 雪あかり
- 14日 特養第三者評価委員会
- 18日 ケーキバイキング
- 19日 課長会議
- 20日 中長期計画策定委員会
- 25日 特養嗜好調査開始 感染症予防対策委員会



とびだせ芸術!
『ステキな作品見てほしい』
のコーナー
デイサービスぶなの園利用者の作品紹介

制作のようす



作品名『バレンタインタワー』



2月といえば…、ハッピーバレンタイン！そこでバレンタインタワーを制作。真剣な表情で取り組むなか、いつしか若い時の淡い思い出話に花咲かせ照れ笑いする利用者様も。一人ひとり心をこめて作ったハートの数は、大小合わせてなんと180個以上！西和賀の寒い冬はまだまだ続きますが、利用者様のほっこりとあったかな気持ち、皆さんにも届くといいな…♪

和賀川
 32
 施設長 平川 縫子

■「熱い冬の戦い」ソチオリンピックが終わった。オリンピックには「魔物が棲む」とよくいわれる。スキー女子ジャンプの高梨選手、女子フィギュアの浅田選手など、まさかと思えることが現実になってしまった。■魔物を作っているのは自分自身のプレッシャーともいう。キムヨナ選手は1年ぶりの大きな大会であったにもかかわらず銀メダルを獲得。■「練習の時から試合のように自分に重圧をかけている。そうすれば本番が精神的にも、物理的にも楽になる」とは彼女の言葉。トップアスリートなら誰もそのような気持ちで挑んでいるだろうが、やはり魔物はいらぬのだ。■ともあれ、歓喜や涙ありのオリンピックの舞台を選手と共有することで、「人間であることの素晴らしさ」を改めて感じる事ができた最高の期間であった。

□特別養護老人ホーム ぶなの園

□デイサービスセンター ぶなの園

□ホームヘルプステーション ぶなの園

□西和賀介護相談室

西和賀町沢内字太田2地割135番地

電話 0197-85-2322

FAX 0197-85-2317

Eメール bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp

□高齢者生活福祉センターかたくりの園

西和賀町沢内字大野17地割140番地1

電話 0197-85-3388

FAX 0197-85-3389

(発行・編集)

社会福祉法人やすらぎ会

広報委員会

平成26年1月1日～3月10日

【ご寄付】

- ・高橋正義様
- ・山鼻弘太郎様

【ご寄贈】

- ・佐々木政様
- ・内記陸奥子様

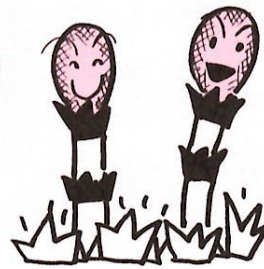
【ボランティア等】

- ・どれみの会様
- ・佐々木エリ子様
- ・沢内中学校様
- ・高橋セツ様
- ・高橋昭土様
- ・高橋和子様
- ・小野寺百合子様
- ・高橋哲雄様
- ・高橋満様

あたたかい善意を頂戴し
厚くお礼申しあげます

表紙の写真

ケーキやおしるこ、各種ドリンクのバイキングが2月18日に行なわれました。食べ放題のケーキは、糖분을控えない方でも食べられるよう工夫。それでも甘さは十分で、住民の皆さんは大満足の様子でした。会場にはひな壇飾りも設置され、春の訪れを感じさせる雰囲気の中で、ほのぼのとした時間が流れておりました。



編集後記

あの日から三年の月日が流れました。大切な家族の命や財産を奪われた方々の心の傷は、まだまだ癒えることはないでしょう。あらためてお悔やみ、お見舞い申し上げます。近い将来、関東地域をはじめ日本列島各所で大規模な地震が発生するとの予測があります。予測はできても予防することはできません。できるのは備え。避けることができない災害が発生した時、大切なものを守るために三年前のあの日は忘れてはならないのです。季節はめぐります。皆さんにとって素敵な出会いの春になりますように……。

W・T